



令和 8 年度青陵祭 「青春（アオハル）」～今しかない青～

岩手県立金ケ崎高等学校（千葉美春校長）の文化祭「青陵祭」は、8月28日、29日の2日間開催されました。一般公開となった29日には、各学年で工夫を凝らしたイベントや部活動の作品展示、ステージ発表が披露され多くの来場者が楽しみました。吹奏楽部の発表では唯一の部員である岩原葛花さん（1年）とともにステージを盛り上げようと、宮田彩希さん（1年）、佐藤由俐珂さん（2年）と教職員が協力し、往年の名曲である「学園天国」「め組の

ひと」などを演奏。アンコールにも応え、迫力満点の計4曲を全力で披露しました。

3年生の総合探究研究発表では、金高の特色である探究学習の集大成として研究成果を発表。細かい分析や理論的な内容に来場者も傾きながら傾聴しました。

年々生徒数が減少する金高。しかしながら、今を全力で楽しみ、仲間たちと良いものを作り上げ、熱い青春をおくる生徒たちの思いは今も昔も変わりません。

第16回金ケ崎町民劇場旗揚げ式

第16回金ケ崎町民劇場「べごのよだれ」（高橋利男実行委員長）の旗揚げ式が9月1日、中央生涯教育センターで開かれ、関係者ら約30人が公演の成功を誓い合いました。12月20日の公演に向け、関係者一丸となって稽古に励んでいきます。

本年度は高橋忠男さん（瘤木・故人）の童話集から『べごのよだれ』を舞台化。それぞれの家族が抱える問題を「べごのよだれ」で解決しようと奮闘する物語が繰り広げられます。昨年度公演中止となった同内容をバージョンアップし、新キャストで披露します。

キャスト・スタッフを引き続き募集しています。興味のある方は中央生涯教育センター（☎44-3123）にお問合せください。



公演成功を誓うキャスト・スタッフの皆さん



受賞を喜ぶ松本会長（中）

令和 8 年度岩手県民俗芸能協会表彰受賞 皆白行山流三ヶ尻鹿踊保存会

皆白行山流三ヶ尻鹿踊保存会（松本義文会長）は本年度の県民俗芸能協会表彰を受賞しました。8月7日に松本会長、町郷土芸能保存会小野寺満会長が町役場に高橋町長へ表敬訪問。先人の功績やこれまでの取り組みについての報告を行いました。同保存会は、日吉神社の春・夏例大祭には神輿巡業と鹿踊の奉納を実施。お盆には先祖の供養として「墓回向」を踊っています。様々な行事で演舞を披露する他、金ケ崎保育園で演舞指導し後継者育成にも取り組んでいます。松本会長は「県外・国外で踊り手として参加し、良い経験ができた。支えてくれる家族に感謝したい」と話しました。

身近にいる妖怪を探そう！ 金ケ崎芸術大学校夏休み企画

金ケ崎芸術大学校（市川寛也代表）は8月8日から14日の期間に金ケ崎芸術大学校の夏休み2026小学生ウィークを開催しました。夏休みを満喫する企画が盛りだくさんとなったプログラムは、各回で担当の先生による授業が大好評。11日には「妖怪の時間」が開催され、旧菅原家（旧狩野家）待住宅付近を散策し、身近な妖怪を探しました。埼玉から来た従兄弟と一緒に参加した金子澄春君（谷地上）は、「聞いたことがある妖怪が多くて楽しかった。自分でももっと調べてみたい」と笑顔を見せました。



夕暮れ時に身近な妖怪を探してみる参加者たち

英語を使って英語を学ぶ！英語が伸びる！ 金ケ崎 English Dojo

受験間近な中学校3年生を対象に英語力を高め、自信を持って本番に臨めるようにと、金ケ崎 English Dojo（町教育委員会主催）が8月17日、街地区生涯教育センターで開催されました。14年目となる今回は町内 ELT、県内在住外国人講師、教育委員会が English Master（師匠）となり、読む、聞く、書く、話す力を稽古。参加者は英語力を高め、受験や英語検定に向けての実力と自信を向上させます。稽古を終えた生徒たちは昇段試験に臨み、師匠から気持ちのこもった昇段認定書を授与されました。主催した町教育委員会のダニエル講師は「金ケ崎の生徒たちは幼稚園・保育園から英語に親しみ、英語に対する抵抗感が少なく、コミュニケーションがうまく取れている。多くの外国人講師に教わる貴重な機会を大切に、どんなことにも自信を持って取り組んでもらえれば」と話しました。



積極的にコミュニケーションをとり、着実に英語力を高める生徒たち